

経済・金融
フラッシュユーロ圏失業率(2024年7月)
—失業率は再び低下し、過去最低値に

経済研究部 主任研究員 高山 武士

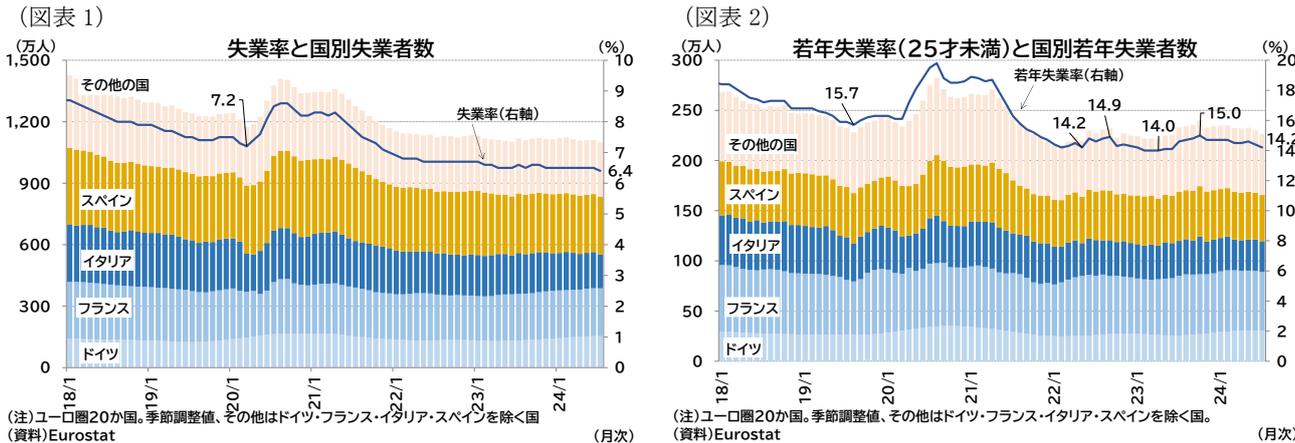
TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

1. 結果の概要:失業率は6.4%にやや上昇

8月30日、欧州委員会統計局(Eurostat)はユーロ圏の失業率を公表し、結果は以下の通りとなった。

【ユーロ圏失業率(20か国、2024年7月、季節調整値)】

- ・失業率は6.4%、市場予想¹(6.5%)から下振れ、前月(6.5%)から低下した(図表1)
- ・失業者は1199.0万人となり、前月(1110.4万人)から11.4万人減少した



2. 結果の詳細:イタリアの失業者が大幅減少

ユーロ圏(20か国)の7月の失業率は6.4%となり、統計データ公表以来の最低値を記録した。過去データは、過去最低値を記録していた4・5月分が6.4%から6.5%にやや悪化方向に改定されている。

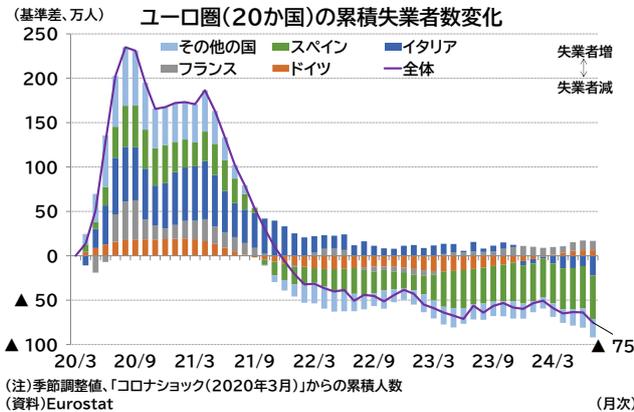
失業者数は7月の前月差で11.4万人減となり、6月の0.3万人減に続く2か月連続の減少となった(6月は4.1万人増から0.3万人減に改定されている)。主要4か国で見ると、イタリア(▲10.7万人)、スペイン(▲1.3万人)、フランス(▲0.5万人)、ドイツ(0.0万人)となり、イタリアの失業減が目立った。また、スペインは6か月連続の失業者減となった。コロナ禍前より失業者数は75万人程度少なく、大半はスペインの失業者減少が寄与している(図表3)。

7月の若年失業率は14.2%となり、6月(14.4%)からやや低下した。なお、若年失業率は6月

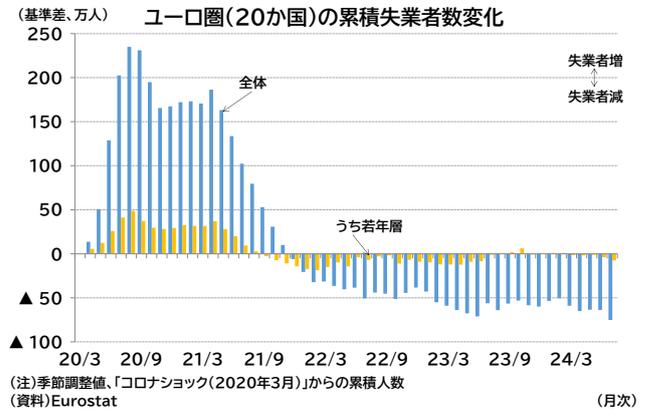
¹ bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

以前の過去データがやや悪化方向に改定されている（6月14.1%→14.4%、5月14.2%→14.6%、4月14.2%→14.5%等）。若年失業者数は7月で226.3万人（前月差▲3.7万人）となり6月（▲2.7万人）から2か月連続で減少した。若年失業者数の水準はコロナショック直前（20年3月の233.9万人）を下回る状態で推移している（図表4）。

（図表3）

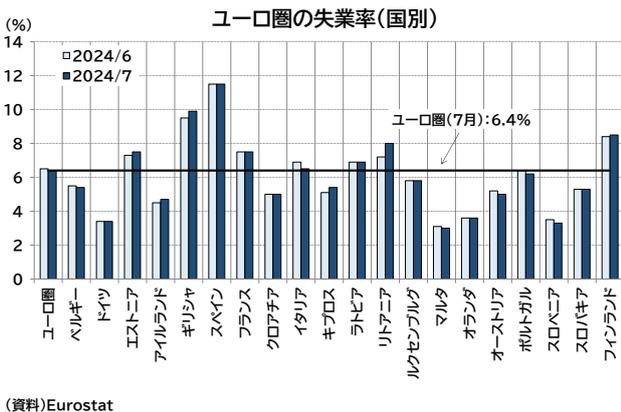


（図表4）

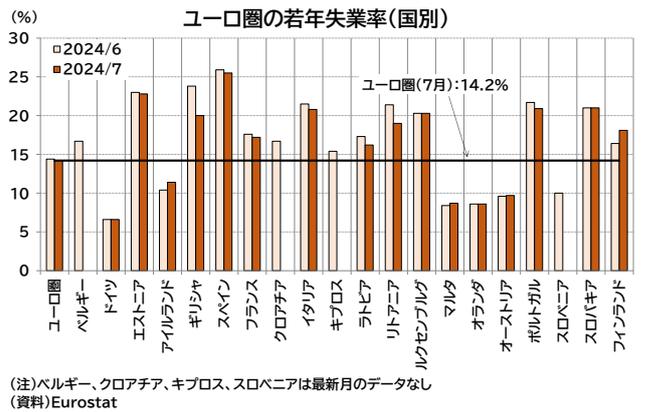


国別の7月のデータを見ると、失業率は20か国中、悪化した国が6か国、改善が6か国、横ばいが8か国だった（図表5）。若年失業率は公表されている14か国中、悪化した国が4か国、改善が8か国、横ばいが4か国だった（図表6）。

（図表5）

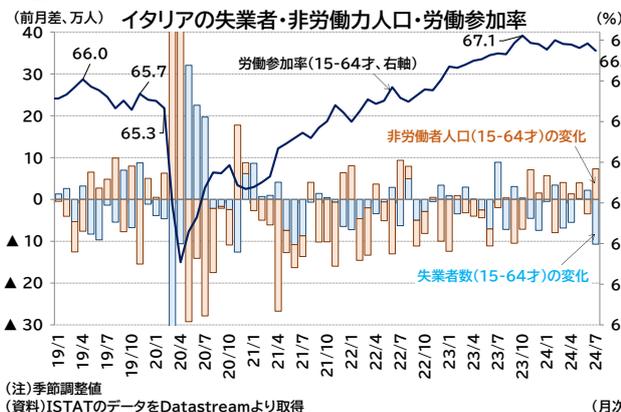


（図表6）

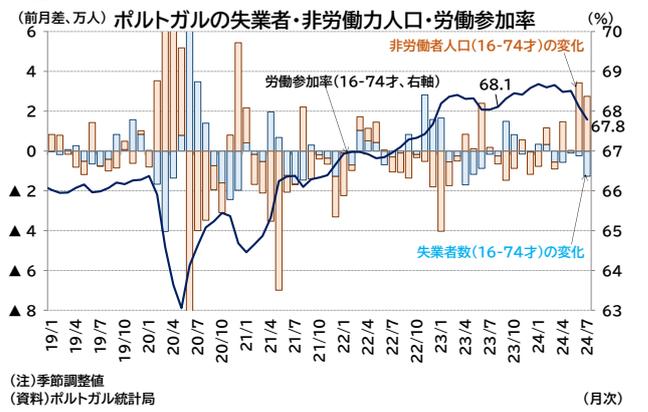


最後に詳細な月次データを公表しているイタリアとポルトガルについて確認すると、イタリアは上述の通り失業者が大幅に減少する一方、雇用者と非労働力人口がともに増加した（図表7）。ポルトガルは失業者と雇用者数が減少し、非労働力人口が増加する形となっている（図表8）。

（図表7）



（図表8）



（お願い）本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。